

令和4年(2022年)3月15日

独立行政法人都市再生機構

東日本都市再生本部

京王電鉄バス株式会社

## 9月17日(土)開業予定の(仮称)八重洲バスターミナルの名称を 「バスターミナル東京八重洲」に決定

独立行政法人都市再生機構(以下「UR都市機構」と京王電鉄バス株式会社(以下「京王電鉄バス」)は、東京駅前(八重洲口)にて段階的に整備を進めている(仮称)八重洲バスターミナル(以下「本バスターミナル」)について、「東京ミッドタウン八重洲」(開発主体:八重洲二丁目北地区市街地再開発組合)内に完成する第1期エリアの開業予定日を令和4年(2022年)9月17日(土)とするとともに、本バスターミナルの名称・ロゴを以下のとおり決定しました。

### ■名称・ロゴ



#### 【名称】

全国各地や海外からの利用者の皆様が、本バスターミナルの所在地を容易に認識でき、東京駅周辺の既存のバス乗り場との識別が可能な名称としました。

#### 【ロゴ】

本バスターミナルは3棟の再開発ビルの地下に整備されることから、3棟の再開発ビルのシルエットと、地下にあるバスターミナルの配置をデフォルメさせた、シンボリックなデザインとしました。

本バスターミナルは、第1期エリアから第3期エリアまでの3期に分けて、UR都市機構が段階的に整備したうえで、京王電鉄バスが一体的に運営するもので、令和10年(2028年)度に予定されている全体開業時には、乗降20バースを備える国内最大級の高速バスターミナルとなります。概要については次頁以降をご参照下さい。

お問い合わせは下記へお願いします。

UR都市機構 東日本都市再生本部

総務部総務課(広報担当) (電話) 03-5323-0625

# 1. 本バスターミナルの概要について

国際都市東京の玄関口である東京駅周辺（八重洲側）では、各方面に向かう高速乗合バス、空港連絡バス等の発着する停留所が、駅前交通広場内では充足できず、周辺の道路上に散在しているため、鉄道等との乗換えが不便であることや、道路上での乗降により円滑な車両交通及び歩行者通行が妨げられている等の課題があります。

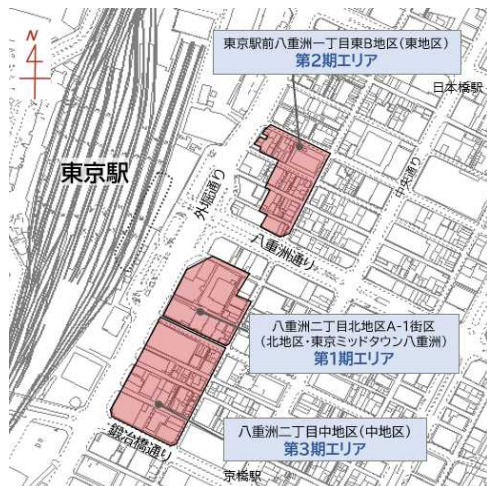
このような課題に対応するべく、東京駅前（八重洲口）の3地区において施行される市街地再開発事業にてバスターミナルの整備が行われております。

今後、UR都市機構は、市街地再開発事業を施行する各市街地再開発組合から本バスターミナル部分（建物の地下部分）を順次取得したうえで、それぞれ段階的に京王電鉄バスに賃貸し、京王電鉄バスは3地区のバスターミナルを一體的に運営する予定となっております。

まず、令和4年（2022年）9月に第1期エリア（北地区）が開業し、令和7（2025年）年度予定の第2期エリア（東地区）開業を経て、令和10年（2028年）度予定の第3期エリア（中地区）開業により、本バスターミナルの全体開業となります。現在、周辺の道路上等で発着している高速乗合バス等は、順次、本バスターミナルでの発着に移行する予定です。

なお、第1期エリア（北地区）の詳細については、次頁（3.）をご参照ください。

## <位置図>



## <施設概要>

エリア (事業地区名)	位置	バス停の数 (バース数)			専有床面積
		乗降	待機	合計	
第1期エリア (北地区)	地上1階、 地下1階及び地下2階	6	3	9	約7,000㎡
第2期エリア (東地区)	地上1階、 地下1階及び地下2階	7	2	9	約6,000㎡
第3期エリア (中地区)	地上1階 地下1階及び地下2階	7	3	10	約8,000㎡
合計	-	20	8	28	約21,000㎡

## <整備イメージ>



## 2. 本バスターミナル整備により期待される効果

本バスターミナル整備によって路上バス停の集約等が実現することにより、国際都市東京の玄関口における交通結節機能強化が図られ、本バスターミナルを拠点として国内外からヒトを呼び込むことにより、東京の国際競争力が強化されることが期待されています。

また、利用者の皆様にとっては、よりわかりやすく、安全で快適なバス利用が実現します。

### 本バスターミナル整備前

- バス停が路上等に散在  
(わかりづらい、案内が不十分)
- 待合機能が不足  
(雨天下のバス待ち、トイレが無い等)
- 鉄道との乗り換えが不便
- バスが路上で発着するため、  
周辺の歩道・車道が混雑

### 本バスターミナル整備後

- 新しいバスターミナルに集約  
(デジタルサイネージ等の案内も充実)
- 安全で快適な待合空間  
(屋内にあり、商業施設等も併設)
- 地下街経由で東京駅と直結  
京橋駅とも地下通路で接続
- 歩道上でのバス待ちの列や  
車道上のバス車両が減少

## 3. 第1期エリアの開業について

### ○開業予定日

令和4年(2022年)9月17日(土) ※事情により今後変更される場合があります。

### ○施設概要

第1期エリアは、八重洲二丁目北地区(A-1街区)再開発ビル「東京ミッドタウン八重洲」の1階、地下1階及び地下2階に位置し、バス停は地下2階に乗降用6バース、待機用3バースの計9バースを備えています。

ターミナル内には、チケットカウンター、トイレ、授乳室、コインロッカーなどの設備のほか、物販等の店舗も併設される予定となっており、利用者の皆様が快適かつ安全にバスをご利用いただくための機能が充実しています。

なお、「東京ミッドタウン八重洲」には、地下1階から3階までに各種の飲食・物販店舗(約60店舗)が出店する予定となっており、このうち地下1階(13店舗)につきましては、本バスターミナルの第1期エリアと同時に開業する予定です。「東京ミッドタウン八重洲」の詳細につきましては、三井不動産株式会社【TEL 03-3246-3155(広報部) / <https://www.mitsuifudosan.co.jp/>】までお問い合わせください。

### ○乗り入れ予定のバス便

現在、東京駅八重洲口周辺の路上バス停及び東京駅鍛冶橋駐車場にて発着している各方面への高速乗合バスが、本バスターミナルの第1期エリアでの発着に移行する予定です(ただし、一部移行しないバス便があります)。このほか、新規路線の乗り入れも予定されています。

発着するバス事業者やダイヤ等につきましては調整中であり、乗り入れ開始日についてもバス便によって異なります。詳細につきましては決まり次第、別途お知らせいたします。

## 【バス便の行先】

関東（主に千葉方面）、東北、甲信越、北陸、東海、関西、中国、四国、九州（昼行便及び夜行便）

## 【発着バス便数】

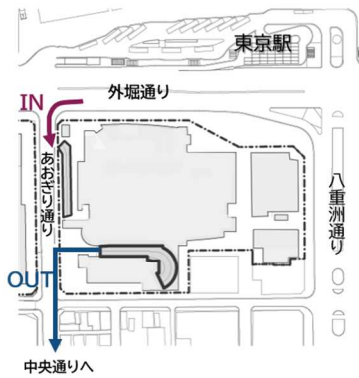
現在、周辺の路上バス停等で発着しているバス便のうち、発着便数で約550便/日が本バスターミナルの第1期エリアに移行する予定です（ただし、便数は今後変動する場合があります）。

なお、新規路線の発着バス便数については現時点で未定です。

※第2期エリア及び第3期エリアも合わせた全体開業時には、約1,500便/日以上での発着が可能となる予定です。

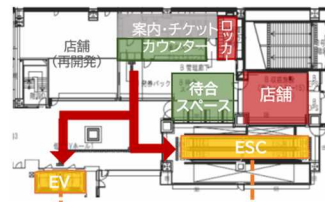
## <ターミナル概略図>

### 1階(バスの出入庫ルート) 第1期エリア開業時

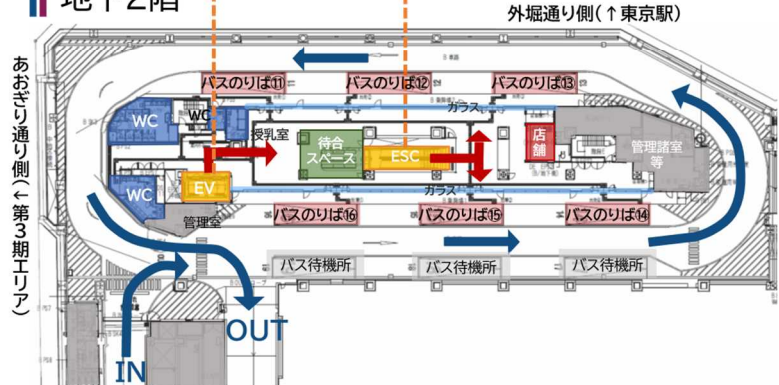


入庫：外堀通りから左折  
出庫：あおぎり通りから中央通り  
※ 全体開業時には第3期エリア  
経路で鍛冶橋通りへ出庫

### 地下1階



### 地下2階



## <デザインコンセプト・イメージパース>

※イメージであり、変更される場合があります

### デザインコンセプト

#### 01 わかりやすい

多様な人々の行動を自然に誘うデザイン

#### 02 かえやすい

段階的開業に対応し調和のとれたデザイン

#### 03 旅立ちたくなる

「旅立ち」を演出する非日常感のあるデザイン



地下1階 案内・チケットカウンター



地下2階 のりば



地下2階 待合ラウンジ

## 4. SDGsへの貢献について

本バスターミナルの整備・運営は、SDGs（持続可能な開発目標）における以下の3つの目標に貢献しております。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



※UR都市機構のSDGsへの取り組みについては、以下をご参照ください。

<https://www.ur-net.go.jp/aboutus/action/customerstisfaction/sdg.html>

※京王電鉄バス（京王グループ）のSDGsへの取り組みについては、以下をご参照ください。

[https://www.keio.co.jp/company/environment/social\\_environment/pdf/csr2021/keio\\_2021\\_00-16.pdf](https://www.keio.co.jp/company/environment/social_environment/pdf/csr2021/keio_2021_00-16.pdf)

＜参考＞ 市街地再開発事業（3地区）の概要

地区名称	東京駅前八重洲一丁目東B地区	八重洲二丁目北地区(A-1街区)	八重洲二丁目中地区
事業主体	東京駅前八重洲一丁目東B地区市街地再開発組合	八重洲二丁目北地区市街地再開発組合	八重洲二丁目中地区市街地再開発組合
所在地	東京都中央区八重洲一丁目6～9番の一部	東京都中央区八重洲二丁目地内	東京都中央区八重洲二丁目4番、5番、6番及び7番
敷地面積	約10,600㎡	約12,390㎡	約19,600㎡
延べ面積	約225,200㎡	約283,900㎡	約388,300㎡
主要な用途	事務所、店舗、バスターミナル、カンファレンス、医療施設、駐車場等	事務所、店舗、ホテル、小学校、バスターミナル、交流施設、駐車場等	事務所、店舗、劇場、サービスアパートメント、インターナショナルスクール、バスターミナル、駐車場等
階数・最高高さ	地下4階・地上51階 約250m	地下4階・地上45階 約240m	地下3階・地上43階 約226m
イメージパース			
竣工予定	令和7年度	令和4年8月	令和10年度

※上表に記載の内容は令和4年2月末時点での計画であり、今後変更される場合があります。

【立面イメージ図】

